

## 発刊にあたって

21世紀を目前に社会は、大きな変革の時代を迎えています。このようななか、明日香村も例外ではなく、様々な変革を迫られております。しかしながら、明日香村には、飛鳥文化の花開いた歴史が大地に刻まれており、これらの遺産を次の世紀へと正しく伝えることも私たちに課せられた責務でありましょう。変革と継承、この相反する事象ではありますが、次の世紀へどのような方法で文化遺産を保存・活用すれば良いのかを探るために、明日香村では飛鳥の文化財の調査研究を実施してまいりました。

飛鳥文化の解明には、様々なアプローチ方法が考えられます。例えば、飛鳥時代の明日香村だけを対象とするのではなく、飛鳥文化を芽生えさせた土壌（飛鳥前史）の検討や、都が去った後の飛鳥がどのように変化をしたのか（その後の飛鳥）も重要な研究対象となりましょう。また、その地域について、飛鳥と周辺地域とを視野に入れた研究が必要であります。更に史料・芸能・民俗・景観そして自然科学など、様々な方法論を駆使することによって、飛鳥文化を総合的に解明することが出来ると信じています。そしてこれらの学際的研究によって、飛鳥学（Asukalogy）なる学問領域を提起できればと考えている次第であります。

このような認識のもと、明日香村文化財調査研究紀要を創刊いたします。ここに掲載いたしました2編は、発掘現場での調査、その報告書作成等の合間に職員各人が、問題意識をもって取り組んだものであります。今後の飛鳥を考えていく上での問題提起・理解の深化・解明の一助となることを願ってやみません。みなさまの忌憚のないご批判・ご叱正の寄せられんことを願っております。

明日香村教育委員会  
教育長 森井 實